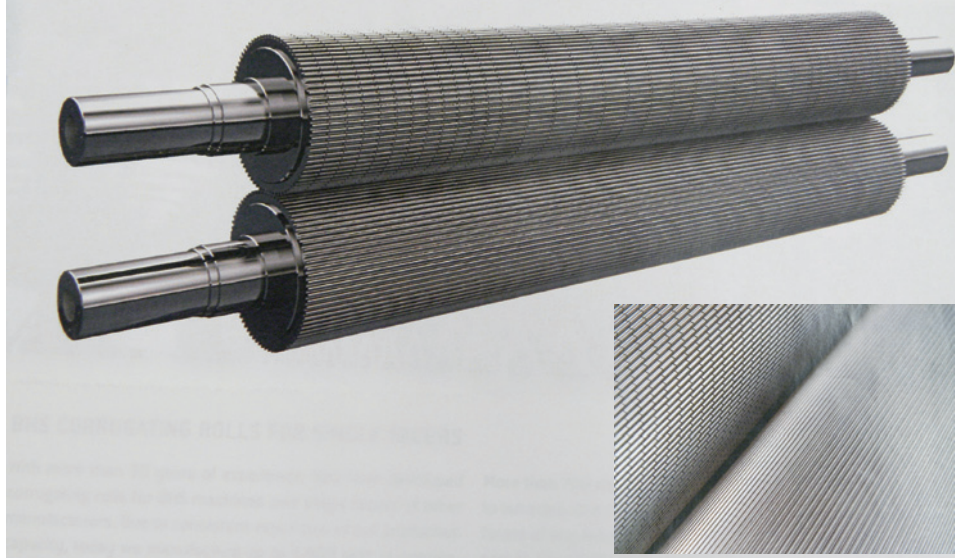


硬質クロムメッキ加工で 部品寿命を飛躍的に高める

期
相
談
コ
ス
ト
相
談
試
作
可
小
ロ
ツ
ト



精度を誇る段ロールメッキ

業務内容

建設・農業機械から
印刷ローラーまで高寿命化

高硬度ですべりが良い硬質クロムメッキの利点を活かし、機械部品の品質向上に貢献する朝日硬質鍍金工業所。建設・農業機械の油圧ピストンや印刷ローラー等に耐摩耗性と耐食性を付与し、機械の寿命を伸ばしている。

段ボール製造機、コルゲートマシンの心臓部「段ロール」は、不純物が混入する硬い紙と摩擦するため高い耐久性が求められるが、硬質クロムメッキを施すことにより、高温、高压、高回転の使用条件下でもメッキが剥離することなく、紙の滑りを良くし、ロールの長寿命化を実現。印刷品質を左右する印刷ローラーも、回転するために円筒度・芯円度の精度がシビアであるが、その要求にも正確に応える。



「段ロール」

強み

経験値の高さで複雑形状も
均質加工で応じる

同社の強みは、さまざまな形状の金属物にムラなく均一にメッキ加工できること。例えば、撚線機用のキャブスタンローラーはφ2.7m、長さ1mとメッキ処理を施すには大きい。通常の方法ではメッキがつきにくい溝の底は、アノード（陽極）に工夫を凝らし

てウィークポイントを解消。メッキ液槽は縦2m、横2m、深さ4mの大きなものも有しているため、わずか数cmのものから4mのものまで加工できる。「液槽に入らない大きなものでも、ポンプを使う等、知恵を絞って加工します」と東浦社長。治具を工夫することにより、形状に合わせて適切にメッキを施す技術を誇っている。

また、メッキの厚さは用途に応じて2μmから数百μmまでと手掛ける幅が広く、厚着けによる肉盛補修で磨耗した金型やシャフト類、炊き出し用の大鍋等、さまざまな製品を再生している。

人材育成

「ものづくり」は「人づくり」
個人の技術力向上が社の宝

同社では、さらなる品質向上のため技術力アップにつながる研修や資格取得を積極的に後押ししている。

高度熟練技能の認定者を始め、電気メッキ、金属研磨仕上げの技能士等の有資格者が在籍し、日本硬質クロム工業会からも品質優良認定工場の指定を受けている。「最後の仕上げを左右する手磨きは、熟練者と新人が交互に行なうことで教えています」と話すように、技術の伝承にも余念がない。

今後の展望

小回りの利く企業として
異業種のニーズに応える

「硬質クロムメッキは、変色せず薬品にも強い。美しい金属色を持つことから、機械部品だけでなく、さまざまな分野で応用できる」と語る同社。これからも小ロット多品種に比べ、硬質クロムメッキの優れた特性を異業種へと広げていきたい意向だ。

COMPANY PROFILE

株式会社朝日硬質鍍金工業所

大阪
24

当社の歴史

当社は、戦前より堺の地場産業である自転車の部品メーカーとして、ラインの一部で装飾のニッケルクロムを製造していました。昭和38年に工業用の硬質クロムの専業に絞って半世紀。創業者である夫と総務畑の私の二人三脚で歩んできました。会社は社会の公器であり、社員は家族同然の存在です。社員の技術力向上を全員で喜べる職場であることが当社の持ち味です。

「いい仕事してますね」と言っていただけのような
製品づくりを心掛けています。

代表取締役 東浦 明子さん



■主な事業内容

硬質クロムメッキ、
バフ研磨 等

■主な取引先（納入先）

印刷機械メーカー、
油圧機械メーカー、
農機具メーカー 等

住 所／〒592-8352
堺市西区築港浜寺
西町7

T E L／072-268-0008
F A X／072-268-0543

創 業／昭和37年4月
設 立／昭和47年9月
資本金／1,800万円
従業員／12名

<http://www.asahi-mekki.co.jp>